



様式第2号(第3条関係)
(会派無所属議員用)

令和5年度政務活動費交付申請書

令和5年11月16日

湯沢市長 様
(湯沢市議会議長経由)

議員氏名 加藤 昭 嗣

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 30,060円

<内 訳>

(単位:円)

| 科 目 | 支 出 額 | 備 考 |
|-----------|---------|---|
| 調 査 研 究 費 | 30,270円 | 八戸市ポータルミュージアム「はっち」 他、調査研究費(うち、政務活動費充当額 30,060円) |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| 事 務 費 | | |
| 支 出 合 計 | 30,270円 | |

参考:申請上限額

| 交付月額 | 議員数 | 交付対象月数 | 上限額 |
|---------|-----|--------|---------|
| 10,000円 | 1人 | 7月 | 70,000円 |

既交付額 0円

湯沢市議会

- 5.11.16

第226号

様式第3号（第3条関係）
（会派無所属議員用）

政務活動費実績報告書

議員氏名 加藤 昭 嗣

| 整理 番号 | 年月日 | 内 容 | 経費項目 | 支出額 | 備考 |
|----------|------------------------------------|--|-------|---|----|
| 1 | 令和 5年 10月 25日 ～ 26日 | <p>◆令和5年10月25日（水） 午後2時00分～午後4時00分 研修先：青森県八戸市 八戸市ポータルミュージアム 「はっち」、「マチニワ」</p> <p>◆令和5年10月26日（木） 午前10時～正午 研修先：青森県八戸市 公営書店「八戸ブックセンタ ー」、 「八戸市美術館」</p> <p>◆参加者：1人 加藤昭嗣</p> | 調査研究費 | 30,270円 (30,060円) ※ かつこ内は 政務活動費充当額 | |
| | | | | | |

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

活動記録 (実績)

日程 令和5年10月25日(水)～10月26日(木)

項目 調査研究費 青森県八戸市 八戸ポータルミュージアム「はっち」、「マチニワ」
 青森県八戸市 公営書店「八戸ブックセンター」、「八戸市美術館」

目的 本市では現在、湯沢駅周辺複合施設整備事業が進められ令和8年10月のオープンを目指している。現状において事業者選定会議を経て優先交渉権者が決定し、実施設計期間に入る時期となっているが今回、青森県八戸市の地域交流、観光交流、市民サービス、市民広場などからなり、中心市街地の賑わいの創出の拠点となる文化観光交流施設を調査研究の視察先とした。八戸ポータルミュージアム「はっち」とそれに付随するイベント広場の「マチニワ」、そして本のまち八戸推進の拠点で民間書店・図書館・市民活動と連携することで、八戸市民への本の普及を目指すことを目的としている公営書店「八戸ブックセンター」及び、令和3年に開館した「八戸市美術館」を現地視察し、今後湯沢駅周辺複合施設整備事業を始め本市のさまざまな事業に対してより良い提案や提言をおこなうため。

行程・予算実績

| 日程 | 時間 | 内容 | | 支払額(円) | | 政務活動費 充当額(円) |
|-----------------------|---------------|----------------------------|-------|--------|--------|-----------------|
| 令和5年 10月25日 (水) | 7:33 → 8:12 | 湯沢→大曲(普通) | 片道乗車券 | 1 | 4,070 | 4,070 |
| | 8:43 → 9:46 | 大曲→盛岡(新幹線こまち) | 指定券 | 1 | 1,660 | 1,660 |
| | 10:59 → 11:26 | 盛岡→八戸(新幹線はやぶさ) | 指定券 | 1 | 2,400 | 2,400 |
| | 11:33 → 11:42 | 八戸→本八戸(普通) | | | | |
| | 14:00 ~ 16:00 | 八戸ポータルミュージアム「はっち」・「マチニワ」視察 | | | | |
| | | 視察資料代 | | | 1,000 | 1,000 |
| | | 八戸市内宿泊(ダイワロイネットホテル八戸) | 宿泊代 | 1 | 10,010 | 9,800 |
| 10月26日 (金) | 10:00 ~ 11:00 | 公営書店「八戸ブックセンター」視察 | | | | |
| | 11:10 ~ 12:00 | 「八戸市美術館」視察 | | | | |
| | 14:36 → 14:45 | 本八戸→八戸(普通) | 片道乗車券 | 1 | 4,070 | 4,070 |
| | 15:06 → 15:44 | 八戸→盛岡(新幹線はやぶさ) | 指定券 | 1 | 2,400 | 2,400 |
| | 16:35 → 17:39 | 盛岡→大曲(新幹線こまち) | 指定券 | 1 | 1,660 | 1,660 |
| | 17:46 → 18:33 | 大曲→湯沢(普通) | | | | |
| | | 手土産(八戸ポータルミュージアム) | | 1 | 3,000 | 3,000 |
| | | | | | | |
| 合計 | | | | | 30,270 | 30,060 |

視察研修・研修会等報告書（加藤昭嗣）

◆ 調査研究活動

○年月日：令和5年10月25日(水)～26日(木)

○参加者：加藤昭嗣

○視察先：青森県八戸市

○視察事項：10月25日(水)

八戸ポータルミュージアム「はっち」、イベント広場「マチニワ」について

10月26日(木)

公営書店「八戸ブックセンター」、「八戸市美術館」について

◎目的

現在本市で進められている、「湯沢駅周辺複合施設整備事業」に対してより理解を深めるために、青森県八戸市の地域交流、観光交流、市民サービス、市民広場などからなり、中心市街地の賑わいの創出の拠点となる八戸ポータルミュージアム「はっち」とイベント広場「マチニワ」、そして本のまち八戸の推進拠点である公営書店「八戸ブックセンター」と令和3年に開館した「八戸市美術館」を視察した。

◎視察内容

●八戸ポータルミュージアム「はっち」、イベント広場「マチニワ」

出発地を意味する八戸ポータルミュージアム「はっち」（以下、はっち）は、地上5階建てで八戸市の中心市街地である三日町に平成23年2月11日に開館した。建設の経緯として、全国的に中心市街地の空洞化や商業機能の低下が懸念される中、八戸市においても例外ではなく、八戸市の中心市街地の顔にふさわしい、人が集い、賑わいのあふれる空間に再生するために整備を始めた。



視察研修・研修会等報告書（加藤昭嗣）

開館直後、東日本大震災が発生し八戸市も大きなダメージを受けたが、「はっち」では被災者の受け入れなどその機能を発揮し、翌年には来館者が100万人を超え、今年4月には1,000万人を達成している。フロアは1Fが案内所になっており、他に伝統工芸品やオリジナルグッズを扱うショップやカフェ、ギャラリーなどからなっている。



2Fは地元食材を活かしたフードやものづくりを通じて起業を目指す工房やレストランが配置されている。3Fもものづくりスタジオや音楽スタジオ、10畳の和



のスタジオなどからなっており、4Fはやはりものづくりスタジオと子育て相談ができ子どもと大人がゆっくり過ごせる子育て支援施設の「こどもはっち」となっている。5Fには工作スタジオの他、会議室などからなり、毎週火曜日が休館日となっている。

運営面については市の直営（一部は業務委託）であり、館長以下会計年度任用職員を含め24名の体制となっている。主な関係団体として商工会議所や各商店街、学校などと連携を図りながら、さまざまなイベントや事業をおこない中心市街地の活性化の拠点となっていることを感じた。「マチニワ」を含む運営費は年間（R.4年度）で約3億3,076万円となっており、内、人件費で約7,433万、維持管理・運営で1億6,927万円が占めている。

「マチニワ」は「はっち」と向かい合った施設となっており、噴水のシンボルオブジェが特徴の総2階建ての全天候型多目的スペースとなっている。休憩や待ち合わせはもちろん、食、パフォーマンス、音楽などのさまざまなイベントや、大型ビジョンを併設しておりライブビューイングやトークイベントにも活用されている。



視察研修・研修会等報告書（加藤昭嗣）

●公営書店「八戸ブックセンター」

イベント広場「マチニワ」のすぐ裏手に位置する公営書店「八戸ブックセンター」（以下、ブックセンター）は①本を読む人を増やす、②本を書く人を増やす、③本でまちを盛り上げる、を基本方針として平成28年に新しい書店のかたちを目指し開館した。施設内は、テーマ別に分

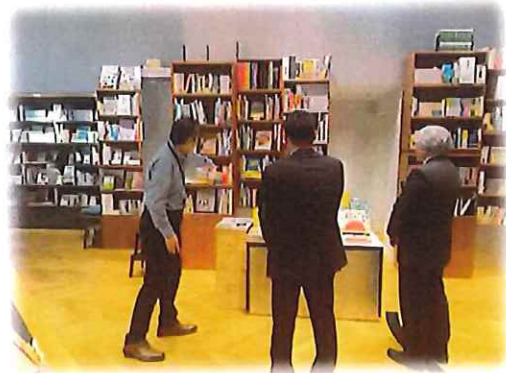
かれた販売書籍が陳列され、選書については売れ筋を避け、八戸市内の書店と販売書籍の競合をしないよう配慮されている。他にも「カンヅメブース」として本などを執筆したい人向けに執筆に集中できる個室を設けており、趣味のレベルからプロの作家やライターまで幅広く利用されている。また読書会ルーム

として館内の本を読むことができ、短歌会などのサークル活動に利用できる部屋も設置され、幅広い世代に利用されている。

主な企画事業として、本のまち読書会（テーマを設定し、ゲストを招いた読書会の実施など）、アカデミックトーク（多彩なゲストを招き、幅広い世代の方

に本に対する興味を抱かせるなど）、執筆・出版ワークショップ（短い小説を書き感想を伝え合うなど、書く楽しさを体験する）やささまざまなギャラリー展を開催し、賑わいを創出させている。また民間書店や学校・公立図書館、公共・民間施設の団体と連携を図ることで、本を通じた市民交流、及びまちづくりの拠点施設の一つとなっている。

運営面は市直営であり、運営費は年間（R.4年度）で約9,695万円となっており、内人件費は職員3名、会計年度任用職員4名の体制で3,932万円となっている。また会計年度任用職員については元書店員が採用され、随所に民間書店のノウハウが運営に活かされていると感じた。



視察研修・研修会等報告書（加藤昭嗣）

●「八戸市美術館」

老朽化、耐震性、展示空間の不足など旧美術館の課題に対する解決などから、新しい美術館整備を求める市民の声の高まり（H. 27 年に新美術館の建設を求める陳情が議会で採択）を受け、令和 3 年 11 月に「八戸市美術館」は市民の文化芸術活動の拠点、アートのまちづくりの中核施設として、令和 3 年 11 月にオープンした。

建物は地上 3 階建てで、エントランスだけではなく人々が集い、学び、活動する場の巨大な空間「ジャイアントルーム」と専門性の高い個室群の 2 つの特徴的な空間から成り立っている。



八戸市美術館は第 4 世代の美術館として、これまでの美術館のイメージである「見る美術館」から「つかう美術館」への移行を標榜しており、「ひと」が活動し「こと」や「もの」を生み出し、「ひと」の活動も作品として展示される美術館として運営されている。

主な取組として、アンケートを基としての絵画の展覧会を始め、学校連携プロジェクトとして小・中・高の教員、学芸員、専門家が一体となってチームをつくり授業で役立つツールやプログラムづくりや学校教育だけでは実現できない取組を行っている。

運営は八戸市の直営となっており、年間の運営費として約 3 億 8,000 万円が支出され、常勤のスタッフの他、ボランティアとしてさまざまなアイデアで関わり方を考え、発見し、提案するアートファーマーが 15 人在籍し運営の一役を担っている。



視察研修・研修会等報告書（加藤昭嗣）

◎まとめ

今回視察した4つの施設は全て八戸市の直営であり、立ち上げ時から数年は責任者として実績のあるディレクターが運営に携わったようだが、建設、運営に対する八戸市の並々ならぬ意気込みを感じた。本市の湯沢駅周辺複合施設整備事業については設計、建設、運営には民間活力を導入することから八戸市と比較し細かい設計や仕様、施設に対する思いなど市民の声がどこまで反映されているのか懸念を感じる部分もある。また本市では指定管理者を置き運営する予定であるが、今回視察した各施設の特徴として市民や利用者が運営に積極的に関わる事が重要であり、そうした仕掛けづくりが湯沢駅周辺複合施設整備事業の成功に結びつく、鍵の一つになるのではないかと感じる視察であった。

様式第7号（第8条関係）

（会派無所属議員用）

令和5年度政務活動費収支報告書

令和6年3月26日

湯沢市議会議長 様

議員氏名 加藤 昭 嗣

令和5年度政務活動費に係る収支について、湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、次のとおり報告します。

収入の部 (単位:円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|-------------|--------|------|
| 交 付 金 | 30,060 | 八戸市分 |
| そ の 他 の 収 入 | 210 | 個人負担 |
| | | |
| 収 入 合 計 | 30,270 | |

支出の部 (単位:円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|-----------------|--------|--------|
| 調 査 研 究 費 | 30,270 | 研修旅費ほか |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | | |
| 要 請 ・ 陳 情 活 動 費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| 事 務 費 | | |
| 支 出 合 計 | 30,270 | |

湯沢市
湯 沢 市 議 会
- 6. 3. 26
第 509 号

様式第6号（第7条関係）

令和5年度会計帳簿

会派名（議員名）加藤昭嗣

収入

| 番号 | 月日 | 摘要 | 交付額 |
|----|-----------|-------------------|---------|
| 1 | R.5.12.14 | 令和5年度政務活動費交付金（入金） | 30,060円 |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | | | 30,060円 |

支出

| 番号 | 月日 | 科目 | 摘要 | 支出額 |
|----|-----------|-------|--------------|---------|
| 1 | R.5.10.23 | 調査研究費 | 手土産代 | 3,000円 |
| 1 | R.5.10.25 | 調査研究費 | 視察資料代 | 1,000円 |
| 1 | R.5.10.27 | 調査研究費 | J R 乗車券代・宿泊代 | 26,270円 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | | | | 30,270円 |

加藤 昭 嗣：政務活動費領収証
(調査研究費)

G No. 000606

領 収 書

2023年10月23日

湯沢市議会 加藤 昭嗣様

| | | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|
| 金額 | | | | | | | | | | ¥3000 |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|

但 お菓子代として(軽減税率対象)

上記の金額正に領収致しました
金額文字の訂正および社印なきものは無効です



株式会社



本社工場 湯沢市字黄金原1番地 ☎73-5185

| | | | |
|---|--------|-------|---|
| 内 | 8%対象 | 3,000 | 円 |
| | (内消費税) | 222 | 円 |
| 訳 | 10%対象 | | 円 |
| | (内消費税) | | 円 |

印
紙

| | |
|-----|-----|
| 係 員 | 店 舗 |
| | Y |

登録番号：T1410001005484

2023年10月25日

領収No.0005

領 収 書

秋田県湯沢市議会 加藤 昭嗣 様

¥1,000-

(但し 視察資料代として
正に領収致しました)

| | |
|-----------|--------|
| お支払い方法 | 現金 |
| 内訳 | |
| 8%対象税込合計 | |
| 消費税等 | |
| 10%対象税込合計 | ¥1,000 |
| 消費税等 | ¥90 |

八戸市
八戸ポータルミュージアム
hacchi

TEL：0178-22-8200
FAX：0178-22-8808
【登録番号 T2000020022039】



加藤 昭 嗣：政務活動費領収証
(調査研究費)

領 収 書

③

No. 002122

加藤 昭 嗣 様

収入印紙

| | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 金額 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

(金額の頭部に「¥」を記入のこと)

消費税込(税率10%)

上記金額正に領収いたしました

取引明細 別紙のとおり

10/25~26 JR券
10/5 宿:日(1:00月分)

取扱者印



※取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

令和 5 年 10 月 27 日

羽後交通株式会社

本社:秋田県横手市前郷二番町4番10号
登録番号 T6410001008788

発行箇所 湯沢旅行センター